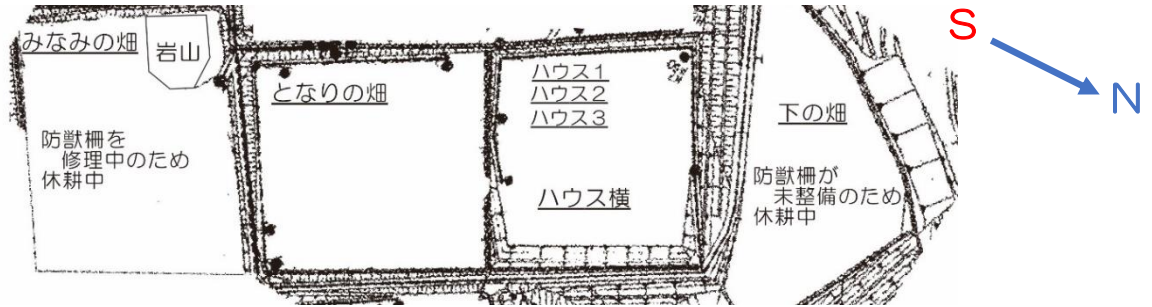


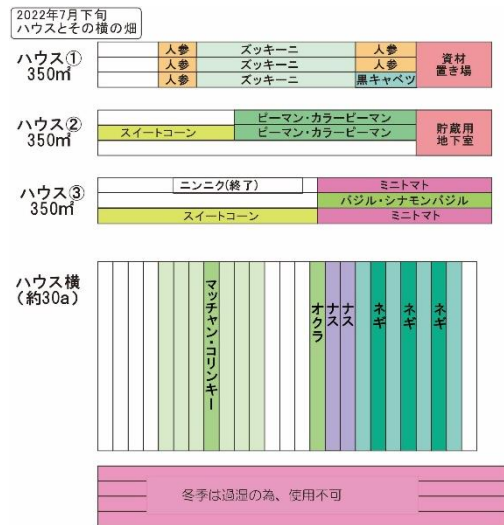
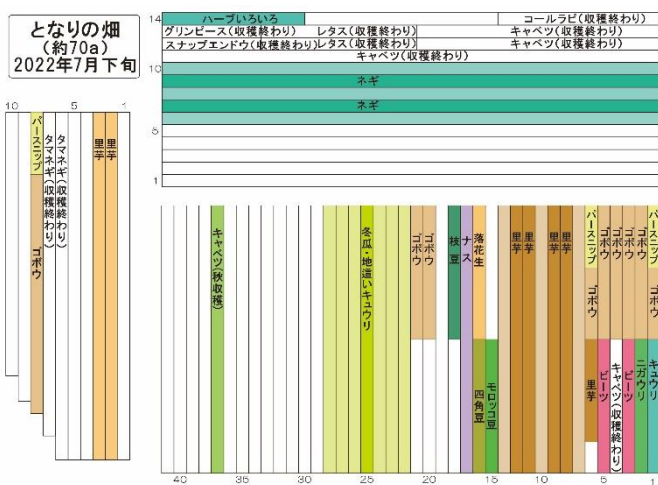
# 今年の puzzle は難しい

みなみの畑が使えない



毎年8月に、秋冬野菜の作付け計画を考えています。作物には、連作を嫌うものや、畑との相性が有るので、その条件を考えながら、どこに何を植えるのか考えていきます。今年は、みなみの畑の防獣柵をシカに壊されているので、となりの畑と、ハウスのある畑の2か所で野菜を作っています。

作付け場所は、冬野菜で多いアブラナ科ばかりが固まらないように決めていきますが、今年では使える畑が少ないので、場所に加えて作付け面積についても考えなければいけないので、難しそうです。



## 秋冬野菜の顔ぶれと畝の長さ (昨年実績)

- **タマネギ類 (240m+ハウス)**  
一部は、小タマネギを作るために、ハウス内で密植します。
- **白菜 (260m)**  
数品種を使って、来年2月頃まで切れ目なく収穫できるように作付けます。結球しなかったものは、来春、菜の花になります。
- **大根 (180m)**  
辛味大根や、紅心大根、黒大根、ミニ大根など5~6種類。辛味大根以外は、厳冬期の露地栽培が難しいので、ハウスの中でも作ります。
- **蕪 (90m+ハウス)**  
来年1月頃までに収穫する白蕪、赤蕪など数種類を露地で、それ以降の収穫分はハウスで作ります。
- **ゴボウ (40m)**  
春蒔きより早い時期から収穫できるので、栽培に挑戦中です。
- **エンドウ豆 (20m)**
- **葉物野菜 (ハウス内)**  
切れ目なく収穫が出来るように、ほうれん草・小松菜、からし菜などを何回かに分けて植え付けます。



冬瓜は、ツルがよく伸びるので、植えている畝も含めて7畝分を占有します。

## 畝の総延長は 830m

今年は、みなみの畑が使えないため、畝の割り振りが難しそうです。量の多い白菜やタマネギ、大根、蕪の量を見直す必要があるかもしれません。